

情報えひめ（愛媛の企業）【141号】

いつもお世話になっています。
財団法人えひめ産業振興財団です。
当メールマガジン「情報えひめ（愛媛の企業）」は
随時発行しています。

このメールマガジンは、「情報えひめ（愛媛の企業）」を
配信希望された方、及び財団職員と名刺交換させていただいた方
に配信させていただいております。

[配信登録・解除はこちら]

<http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/mail.html>

配信解除ができない場合は、ouen@ehime-iinet.or.jp まで
お問い合わせください。

今回の目次

- [1] 「情報えひめ」から特集記事の紹介
- [2] コラム「道後散策Ⅱ — 子規と湊石の道後散策」

◆ [1] 「情報えひめ」から特集記事の紹介

- 愛媛の企業「IT化拝見」
社団法人 愛媛県物産協会
～ 愛媛県産品を全国に向け紹介 ～

当協会は、愛媛県産品の宣伝紹介、販路拡大、品質改善等を行うことにより、本県地場産業の振興を図り、本県経済の発展に資することを目的として、平成3年7月に創設されました。

アイテムえひめ内の「愛媛県物産観光センター」を拠点とし、物産展示ゾーンでは、タルト・伊予柑・じゃこ天・真珠等、愛媛が誇る特産品を豊富に取り揃えています。また、県外では、東京（せとうち旬彩館）・大阪（愛媛県大阪事務所）での県産品販売のほか、デパート、イベントホール等で実施する物産展、見本市、展示会等へも積極的に参加しています。

IT活用については、当財団が運営するショッピングモール「あいあいえひめ」への出店を契機に、インターネットを活用した県産品紹介、販路拡大を積極的に行っており、サービスも工夫しているようです。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

⇒ <http://www.ehime-iinet.or.jp/zaidan/mail/johohime/>

◆ [2] コラム「道後散策Ⅱ — 子規と漱石の道後散策」

正岡子規の死後、柳原極堂によって発表された句集に「散策集」があります。子規は、明治28年、日清戦争に従軍記者として参加したその帰途船中で咯血して、療養の後松山へ帰り、当時松山中学の教師をしていた夏目漱石の下宿「愚陀仏庵」に約50日間滞在しました。その間、気分のよい時には、友人と或いは一人で5回ほど近郊を散策し、その時詠んだ多くの俳句を集めたのが「散策集」です。

散策の4回目は『明治28年10月6日 今日の日曜なり、天気は快晴なり、病気は軽快なり、遊志勃然、漱石と共に道後に遊ぶ、三層楼中天に聳えて、来浴の旅人ひきもきらず』という書き出しで始まります。二人は、一番町から道後まで開通したばかりの電車に乗り、そこから鷺谷へ向かいました。今の鷺谷墓地の東側にあった「黄檗宗大禅寺（今は廃寺）」で亡き曾祖母の墓を探しますが見つかりません。

『花芒 墓いずれとも 見定めず』

そこから引き返して鴉溪の花月亭に立寄りました。現在の「ふなや」の庭にあたる場所だそうです。

『亭ところ亭ところ 溪に橋ある 紅葉哉』

続いて松ヶ枝町を経由して、一遍上人の生誕地である「宝巖寺」に参り、お寺の石段に腰を掛けてしばし休息しました。そこで詠んだ句

『色里や 十歩はなれて 秋の風』

さらに二人は電車で一番町に戻り、大街道にある芝居小屋「新栄座」で「てには（照葉）狂言」を見て、8句も俳句を詠んでいます。最後の句

『男郎花は 男にばけし 女哉』

「散策集」には全部で142句の俳句が載っていますが、そのうち漱石との道後散策は狂言の句を含め18句です。

多分漱石も句を詠んだと思われませんが、記載はありません。（橋本）

◆◆
財団では、皆様からのご意見・アドバイスをお待ちしております。
お気付きの点や、取材して欲しい情報等がございましたら、
ouen@ehime-iinet.or.jp までお寄せください。
当財団の特別研究員が一生懸命取材してお届けしたいと思います。
◆◆

発行責任：
財団法人えひめ産業振興財団
総務企画部企画情報課
松山市久米窪田町337番地1
Tel：089-960-1100 Fax：089-960-1105
E-mail：ouen@ehime-iinet.or.jp
HP：http://www.ehime-iinet.or.jp/